

石狩川振興財団が札幌開発建設部から委託を受けて行った事業について紹介します。
札幌開発建設部では調査船「弁天丸」を活用して、「石狩川流域の水害や治水事業の歴史」、「流域の風土」、「地域の水文化」、「周辺の河川環境」などの学習活動を通じて、環境保全や防災に対する意識を高めていただくための支援活動を行っています。

令和3年度 石狩川下流河川総合学習支援業務 調査船等を活用した学習支援活動 第3回



◇令和3年 10月2日（土） 13:00～17:00
◇参加者 北海道当別高校
生徒 3名 教諭 3名

【学習コース】 茨戸川～石狩川コース（川の博物館発→石狩灯台付近→当別川合流点→川の博物館着往復）

【学習行程】

弁天丸乗船
川の博物館見学

【学習内容】

- ◇弁天丸
 - 志美運河水門や石狩放水路のはたらき
 - 捷水路について
 - 石狩川の概要
- ◇川の博物館見学
 - 石狩川治水のあゆみ
 - 洪水の歴史

【実施状況写真】



船のエンジンを見せてもらいました



志美運河水門の仕組みについて



船長さんにもたくさん質問



なんと鹿を発見！



自分たちの学校と川の位置を確認



石狩川の長さや面積について

一般財団法人 石狩川振興財団

企画部企画係長 折田 智美 様

弁天丸の体験からはや一週間。こんなにも秋が進むとは思っていませんでした。

さて、この度はお忙しい中、そして短い期間の中で乗船体験の機会をつくっていただき、心から感謝申し上げます。

おかげをもちまして、生徒は石狩川への親しみと理解を深めると共に、フットパスに向けた様々な着想を得ることができました。

そのフットパスも、貴財団のご協力で、順調に準備が進んでいます。


コースも決まり、案内チラシも無事仕上がり、過去の参加者の皆様にも郵送することができました。お粗末な出来ですが、同じものを同封いたしますのでご覧ください。

また、いつもフットパス終了後に参加された皆様に事後通信をお送りしていますので、出来上がりましたらお送りします。

生徒の感想文も同封しました。本来であれば原文自筆のものをお送りしたかったのですが、ちょっと文字が個性的すぎてお困りになるかと考え、ちょっと時間をかけて機械で打ち直しをさせました。ご理解ください。

最後になりましたが、当日一緒に乗船いただいた職員の皆様、貴財団の皆様にくれぐれもよろしくお伝えくださいますようお願い申し上げます、甚だ簡単ではありますが、お礼とさせていただきます。

令和3年10月11日

北海道当別高等学校 東穂 公洋 

弁天丸に感謝

立石 乙 笑

私は、弁天丸に乗った時は少し船が怖かったのですが、乗ってみるとなにも怖くなくとつても楽しい二時間にしていただきありがとうございます。うございしました。また、川は外側から見るのと内側から見るのでは見え方がぜんぜん違うと思いました。私てきには、内側から見るのがすきです。なぜなら、全部が輝いて見えるのもありますが、私は動物が好きなのでシカやサギなどが見れたことと、外側から見ることのできない橋の裏などが見れて特別な気分がしたので私は好きです。

私は少し緊張してしまうことが多いのですが、とてもアットホームな感じで緊張もせず質問をできたし、質問したら優しく答えてくれたり、操作を教えていただいたりしていただきとても心地よく過ごすことができました。また、私が特に記憶に残っているのは、ジカなどを見ることのできたことです。私は

20 × 20

動物が好きなので、アオサギ、シロサギ、シカや魚を見れて石狩川にはいろいろな動物の生息地になっていることがわかりました。また、石狩川は人の手で掘っているから川の底の深さがまったく違うこともわかりました。石狩川は自分が思っているよりも長く、いろいろな川に枝分かれしているのと海にもつながっていることもわかりました。川の博物館は、私は川について何も知っていませんでしたが、前よりも多くの川について知ることもできました。石狩川が枝分かれしているのは、大雨の時に川の氾濫を防ぐためなのがわかりました。人工で石狩川のシヨートカットはすごく時間がかかり大変なことだと思います。たとえば私が石狩川をつくる手伝いをしていたら絶対に川をつくりたくなかったと思います。もうからでず。なので私は、その時代に石狩川をつくらせてくれたことに感謝したいなあと思います。

20 × 20

ま	た	、	石	狩	川	は	も	と	も	と	こ	う	し	て	で	き	て	い		
た	川	な	の	も	わ	か	り	ま	し	た	。									
今	回	、	学	ん	だ	こ	と	を	生	か	し	て	フ	ツ	ト	バ	ス	で		
話	せ	る	よ	う	に	頑	張	り	た	い	と	思	い	ま	す	。				
フ	ツ	ト	バ	ス	で	は	、	緊	張	し	て	話	せ	る	こ	と	が	少		
な	く	な	っ	て	し	ま	う	か	も	し	れ	ま	せ	ん	が	、	石	狩	川	
に	つ	い	て	や	本	庄	陸	男	や	弁	天	丸	に	つ	い	て	を	お	客	
さ	ん	に	わ	か	り	や	す	く	話	せ	る	よ	う	に	し	た	い	で	す	。
最	後	に	な	り	ま	す	が	、	優	し	く	接	し	て	い	た	だ	い		
た	り	、	魚	に	つ	い	て	や	、	川	に	つ	い	て	も	教	え	て	い	
た	だ	き	本	当	に	あ	り	が	と	う	ご	ざ	い	ま	し	た	。			

20 × 20

弁天丸に乗って
 阿部 洗之介
 この度は弁天丸に乗せていただきありがとうございます
 うございます。私自身船に乗るのが二回目です
 不安などもありましたが、乗船した時の温かい
 雰囲気や、天候にも恵まれて良い日になりました
 ました。また、船員の方にも設備や機械を紹介
 して計測器を使わせてくれたり、動植物や
 石狩川の歴史などを教わりました。この知識
 はフットパスに参加したお客様にも共有し
 石狩川を少しでも知ってもらえるようなガイド
 をしたいと思います。
 また、私が特に印象に残ったのが、川の合
 流地点に向かう途中です。鹿が川に水を飲み
 に行く姿や川から見たコース、文学碑などが
 みえ、普段では見れない景色や橋の下からの
 光景などがまた合流地点では、札幌から
 きている様々な川が最終的には石狩川につな
 がっているのを見て、とても親近感がわきま
 しました。

20 × 20

	弁	天	丸	に	乗	っ	て	い	た	に	時	間	は	長	い	よ	う	で	短				
い	時	間	で	し	た	。	教	わ	つ	た	知	識	は	参	加	者	に	伝	え				
れ	る	よ	う	努	力	し	て	い	き	た	い	で	す	。									

20 × 20

伊藤 寛人
 今回石狩川について貴重な経験をさせてい
 ただきありがとうございます。初めて乗っ
 た船だったのので少し酔いしそうでした。心配だっ
 たのですが大丈夫でした。鹿が見れたり自然
 を感じることも多かったです。船の中について知
 ったり、石狩の色んなことがしれました。資
 料を見る前に石狩川の仕事について調べてい
 たので知ってはいなかったのですが、イラストや
 工事の時の光景が見れて頭の中で想像できな
 かったのでも想像できるようになりまして大き
 なたったのでも感じました。石狩川は忘れない事はないと思
 います。そのぐらいいろくろく心に残る体験ができたか
 なたったのでも感じました。昔の人が努力したから今の
 石狩川があるわけの知っていても詳しく知っ
 てる人もいらっしゃるしそれを伝えるためにフ
 ツトバスを頑張ります。貴重な体験ありがとうございました。

20x20